

敗戦国の聖女

ゴブリンに
調教され

ドスケベ芸を披露



王国への侵略戦争が終わり、帝国の歓楽街には多くの娼館が建った。

敗戦国である王国の女達は調教がなされ、このような娼館で『奉仕』する仕事を与えられた。

そんな娼館で、一際人気を博した娼婦がいた。

それが帝国の改宗計画により、ゴブリンと結婚をさせられた王国の神官聖女エイリスだ。

植民地の貴族としてゴブリンの夫と子供をこさえる間、労働階級にある帝国男性への奉仕活動の一環として、

エイリスはたびたびこの娼館で男性たちへの『見世物』となっていた。

エイリスを引き連れて来たのは二匹の調教師ゴブリンだ。帝国によって位が与えられた、他国の女を従順な性奴隷へと教育し、管理する役割を与えられたゴブリンだ。

クリトリスを連結された『手綱』で促され、エイリスは元気に乳房を揺らし、会場の帝国男性に手を振った。

王国の元聖女がゴブリンと結婚し、何匹ものゴブリンを産み、そして帝国の男達を愉ませるための娼婦として、ゴブリンから調教を受け、あられもない姿で、こうして笑顔を振り撒く。

帝国男性にとって、この見世物は別格だった。



ステージ中央に連れて
こられたエイリスは、
自身の性器を
丸出しにしたポーズで
魅をくねらせ始める。

各所に
取り付けられた装飾が
エイリスの魅を
淫美に飾り立て
男達をより扇情した。

調教師ゴブリン
によって仕込まれた
『勃起を促す舞』である。
男性達に向け腰をくねらす
エイリスの後ろから――

調教師が
『指示棒』で
女性器を
擦り上げる。

拘束具によって
露わになったクリトリスが
ゴブリンの性器を模した
指示棒の突起で弄ばれ、
エイリスは
情け無い声を上げながら
アクメを晒した。

調教師ゴブリンの
調教が行き届いて
いる証だ。
会場からは
大きな拍手が
送られる。

次に
調教師が
取り出したのは
鼻フック。

アクメにより
全身を痙攣
させてもなお、
ポールを離さず
姿勢を保持する
エイリス。

うひいひい

パッ

ハッ
アッ
ハッ
ハッ

ほおほお

フッ

フッ

半ば強引に
性液を絞り出す、
『御下劣バキュームフェラ』

指示された通り
大きな音を立てて、
帝国男性の男根に
むしゃぶりつくエイリス。

射精中も、性液の更なる分泌を促す様にピストン。そして、尿道に残った精子を一滴も残さない様に吸い上げる。

言う事をきちんと聞けたエイリスに、調教師は褒美としてエイリスの子宮口を撫で回してやった。

エイルスの
絶頂と
帝国男性の
射精が
終わると、

エイリスは調教通り、
男性の排泄した精液を
舌の上で転がし
見せつけた。

ドキロオ...

これが、
ゴ布林によって
賤けられた、
属国の女としての
作法である。

男性達への
奉仕が終わると、
ゴ布林は

エイリスの眼前に
自身のいきり勃った
肉棒を見せつけた。

ほ

ドキ

エイリスは
目の色を変え、
発情し切った女性器に
それを導く

そう、
この見世物最大の見せ場、
「ゴ布林による交尾ショー」
である。

皆様あーあ
今からあーあ

エイリスは、
背中にゴ布林を乗せ、
自らの性器がしっかり
見える様にポーズを取り、
観客達に交尾ショーの
開催を告げた。

ゴ布林は
その発声を聞くと
エイリスの性器に
肉棒を押し当て

ゴ布林様のお尻を
交尾していただく所を
ご覧いただきます

くっつく

あ

ん

これまでの出し物で
発情したエイリスの
蜜壺は愛液を満載し、
ガチガチでイボつきの
ゴブリンのちんぽを
ちゅるんと飲み込んだ

会場の期待は大きく膨れ、拍手が沸き起こった。

その拍手に応える様に
ゴブリンはエイリスの
弱点を一突き。

堪らず潮を撒き
散らすエイリス。
調教師ゴブリンの
ファンサービスに
男達は更に大きな
拍手と歓声を送った。

お♡

あ!!
あ!!
あ!!

王国民の税金に支えられ、日夜ゴブリンとの性行爲しかしていないエイリス。調教され尽くしたエイリスはゴブリンと人間ではできない様な体位を次々と披露する。

調教師によつて仕込まれた体位はどれも、自然な交尾ではなく、シヨ一の為に如何に卑猥で扇情的かを考えられた、謂わば「魅せるための交尾」だ。

ゴブリンの長い射精中も、健気に片足を上げ、自らの女の部分を穢される様を、しっかりと観客に披露するエイリス。

んおはな

当然ゴブリンの性行為が一回の射精で終わることもなく

ハナ

44



ハフ

ハッ

バク

回

1/4

67



フリッソの
体制を取られ、
口と性器でゴフリンを
愉ませる
『串刺しのポーズ』や、



後ろの席まで
良く見える様に
自ら尻を高々と掲げ、
無防備な二穴で
肉棒を受け止める
『隷属便女ポーズ』

んぶう

んぶう



帝国でこのような
見世物が
流行するのも
自然な流れである。

ゴフリン調教師によって
馴けられた女の
交尾シヨは、
侵略戦争に勝利し、
属国を手に入れた
帝国の男達に
与えられた特権。

蕩け切った下半身に
容赦なく突き刺さる
2本の凶悪な性器に
なすすべなく豚の様な
声を上げるエイリス。
ゴフリン達により仕込まれた
卑猥なポーズでの交尾姿を
次々と披露して、エイリスは
会場の帝国男性達を満足させた。

んぶう

んぶう

んぶう

ヨブリンによって
飼育され、
植民地である
王国の税金に
生かされている
エイリスは、
誰の子供を孕んでも
問題ではない。

ヨブリンによって
散々弄ばれ、
抵抗できなくなった
エイリスの女性器に

無数の男が性液を流し込む
『公開無作為孕ませショー』も
この娼館ならではのサービス。

帝国の男達はこうして
支配した他国の女を
好きな様に犯し、
慰み者にする。

娼婦エイリスの
見世物ショーは、
エイリスが妊娠しても続き、
帝国の男達の
娯楽の一つとして
大盛況だったと言う。